

コエ出し、エゴなし、エコ活動

ユネスコスクール
高崎市立六郷小学校

1. 取り組みの概要

六郷小学校は平成22年度にユネスコスクールに加盟し、ESD（持続可能な開発のための教育）に取り組んでいます。今だけでなく未来の地球のことも考え、各学年や委員会の環境活動を通して人や自然、社会との「つながり」「かかわり」を尊重できる児童の育成を目指しています。さらに、SDGs（地球上のすべての人々がいつまでも健康で幸せに暮らせるようにしていくための17の国際目標）について学び、ゴール達成に向け、ESD（SDGsを推進するための取組）を推進しています。

2. 令和6年度の活動内容

【環境学習】

本校では、各学年の総合的な学習の時間や社会、理科、生活科などに環境学習が位置づけられており、ESDカレンダーに基づいて様々な教科と関連させながら教科横断的に取り組んでいます。

低学年では自然や環境に親しみをもてるように、中学年では身近な自然や環境に関心をもって課題を見付けられるように、高学年では広く視野をもって自然や環境に目を向け課題解決できるようにと段階を踏んだ学習をしています。

1年生は近くの自然に親しみ自然に触れる「フォレストリースクール」、2年生は野菜を育て観察する「ぐんぐん育てわたしのやさい」、3年生は学校周辺の歴史や環境について調べる「新発見！六郷の町」を学習しています。4年生の「中庭プロジェクト」では、環境問題に関心を持ち課題を見つけ、解決方法を調べ、実践する学習をしています。5年生は「榛名林間学校」で高崎市の自然を感じ、6年生は理科「地球に生きる」で自然環境について考えています。また、「動く環境教室」では、4年生は「家庭から出る水の汚れ」や「ゴミ問題」、6年生は「川や池の水質」や「地球温暖化」をテーマに体験学習に取り組みました。4年生と計画委員会と環境委員会の児童を中心に、100名以上の児童が「ぐんまエコ宣言2024」に応募しました。夏休みに行ったエコ活動をまとめ、報告しました。審査の結果、6年生の児童1名が、書類審査を通過し、プレゼン大会に出場を果たしました。



フォレストリースクール



ぐんぐん育てわたしのやさい



新発見！六郷の町



中庭プロジェクト



榛名林間学校



地球に生きる



動く環境教室



ぐんまエコ宣言2024

【環境委員会】

環境委員会では、**校内のエコパトロール、花壇の整備、SDG s ウィークの運営**など、校内の環境活動の中核を担っています。

エコパトロールは、休み時間に校内を見回り、電気の消し忘れや水の止め忘れがないかをチェックする活動です。また、玄関にある掲示板とお昼の放送でパトロールの結果を報告し、**全校に節電・節水を呼びかけています。**

校庭にある**花壇**も環境委員会が花を植えたり、水を撒いたり、草を取ったりして、花の手入れをしています。今年度は、開校150周年記念の年ということもあり、百日草の花で「祝150周年」の文字を作りました。

SDG s ウィークの運営では、イベントの企画や2階ホールにあるSDG s 掲示板の管理をしています。



エコパトロールの様子



SDG s 掲示板の管理



「祝150周年」の文字の花壇

【環境活動】

・SDG s ウィーク

六月上旬に「**SDG s ウィーク**」を設けました。まず、計画委員会と環境委員会を中心に**SDG s 集会**を行いました。計画委員と環境委員の児童たちが自らのSDG s の取り組みを示す**SDG s 掲示板**の使い方を説明したり、**SDG s の目標に合わせた実践を報告**したりすることで、児童がSDG s について考えることができました。その後、学級ごとにSDG s への取り組みをカードに書いて、2階にあるSDG s 掲示板に掲示し、全校で実践を共有しています。



SDG s 集会と掲示板

・中庭の整備

本校の中庭には、開校100周年を記念して作られた**観察池**や**果実のなる木**、食品トレイから作った枠で囲まれている**エコ花壇**があります。4年生を中心に、中庭の整備を行い、今年度は、各家庭から出た生ごみでたい肥を作り、エコ花壇や木の根元に散布しました。また、生ごみ堆肥を利用して、第7の池で稲作りを行いました。

中庭は、休み時間等に立ち入ることはできませんが、理科や総合的な学習の時間、生活科などの授業で訪れ、植物や生き物と触れ合う場所になっています。



観察池の様子



池を観察している様子



生ごみでたい肥作り



稲刈りの様子

3. 令和7年度の活動について

今年度も各学年の学習の時間、委員会等の活動で身近なエコ活動・環境活動に取り組むことができました。今後も環境活動に取り組むだけでなく、一人ひとりの環境への意識を高め、できることを自ら行っていく児童の育成を目指していきたいと思います。